

木更津市健康づくり推進協議会委嘱状交付式及び令和6年度協議会 議事録			
開催日時	令和6年8月8日(木)15:30~16:30	会場	木更津市役所朝日庁舎 会議室 A1・A2
出席者	健康づくり推進協議会委員(17名)		
欠席者	君津木更津歯科医師会 勝呂委員		
事務局	小原健康こども部長、茅野健康推進課長 内田課長補佐、荒木係長、清水係長、 渡邊副主幹、都築副主幹、山口主任歯科衛生士		
記録者	都築副主幹		
事務局 (荒木)	<p>《 委嘱状交付式 開会 》</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から令和6年度木更津市健康づくり推進協議会委嘱状交付式を行います。私は、進行を担当させていただきます健康推進課の荒木でございます。</p> <p>本日は、本協議会事務局を担当いたします、木更津市健康こども部健康推進課職員で行います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、委嘱状の交付を行います。本来ならば、市長より委嘱状を交付させていただくところではございますが、本日公務のため不在でございますので、市長に代わりまして、健康こども部長 小原より委嘱状を交付させていただきます。部長が皆様の正面にお伺いいたしますので、お名前を読み上げましたら、お一人ずつその場でご起立をお願いします。</p> <p>出席した新たに委員となる17名に向けて、1名ずつ名前を読み上げ、委嘱状を交付 (介添え：茅野課長)</p>		
事務局 (荒木)	続きまして、健康こども部長よりご挨拶申し上げます。		
小原部長	<p>皆様、こんにちは。健康こども部長の小原でございます。本日はご多用のところ、木更津市健康づくり協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃より本市の保健行政はもとより、市政各般にわたり、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、この度は委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。本市の健康づくりの推進にご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。さて、本市では、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小を目標とした計画、「第4次健康きさらづ21」を令和6年度よりスタートいたしました。本計画は「高めよう健康意識 実践しよう健康づくり つかもう健康長寿」を基本理念とし、生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまちづくりを目指し、市民一人ひとりが健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組んでいけるよう食生活や運動などの生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進、健康になれる社会環境の質の向上をはかるために策定しております。計画期間は、令和6年度から令和17年度までの12年間における、長期間の計画となりますが、目標である、健康長寿の延伸、健康格差の縮小に向かって、着実に取り組んでいきたいと思っております。結びに委員の皆様には、本協議会への更なるご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。</p>		
事務局 (荒木)	ありがとうございました。以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。		

事務局 (荒木)	<p>《 協議会 》</p> <p>それでは、続きまして「令和6年度 木更津市健康づくり推進協議会」を開催いたします。会議の開催にあたり、資料の確認をお願いします。資料は、先に郵送させていただきました、会議次第、「木更津市健康づくり推進協議会要綱」、「第3次健康きさらづ21のライフステージ別健康目標及び令和5年度結果一覧表」、「第4次健康きさらづ21」概要版、「第4次健康きさらづ21」取組一覧シート、「第4次健康きさらづ21」の計画冊子、また、本日お手元にご用意させていただきました委員名簿、席次表です。よろしいでしょうか。</p> <p>不備がございましたらお申し出ください。</p>
事務局 (荒木)	<p>それでは、これより議事に入らせていただきます。本日の会議は、委員18名中17名の出席をいただきましたので、木更津市健康づくり推進協議会要綱第6条第2項の規定により、会議は成立いたしました。なお、同要綱第6条第1項の規定により会長が議長となることとされておりますが、委嘱期間満了により会長が選出されておられませんので、健康こども部長を仮議長とし、議事を進行させていただきます。</p>
小原部長	<p>健康こども部長の小原でございます。よろしくお願ひいたします。しばらくの間、仮議長を務めさせていただきます。会議に先立ちまして、皆さまにお諮りいたします。「木更津市審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定により、この会議は公開することが原則となります。本日の議題につきましては、同条例の非公開事由には該当しないため、本日の協議会について公開することとしてよろしいでしょうか。ご賛同いただける方は挙手をお願いします。</p> <p>— 挙手全員 —</p>
小原部長	<p>ありがとうございます。それでは、この会議については公開とします。</p> <p>《議題1 役員選出》</p> <p>それでは議題1の「役員の選出」でございますが、木更津市健康づくり推進協議会要綱第5条第2項で「会長及び副会長は、委員の互選により定める」となっておりますがいかがいたしましょうか。</p> <p>— 事務局一任の声 —</p>
小原部長	<p>それでは、事務局一任の声がありましたので、事務局から案がありましたら、お願いします。</p>
茅野課長	<p>それでは、事務局(案)を発表させていただきます。会長は、君津木更津医師会 会長 天野隆臣様、副会長は、木更津市社会福祉協議会 副会長 金網房雄様をお願いしたいと考えております。</p>
小原部長	<p>ただいま、事務局(案)として、会長は、君津木更津医師会 天野 様、副会長は、木更津市社会福祉協議会 金網 様とのことですが、いかがでしょうか。</p> <p>— 異議なしの声 —</p>

小原部長	<p>ただいま「異議なし」の声がありました本案について、ご承認される方は挙手をお願いします。</p> <p>— 挙手全員 —</p>
小原部長	<p>挙手全員でございます。皆様の賛同をいただきましたので、会長は天野 様、副会長は金綱様をお願いいたします。役員の皆様には、2年間よろしくようお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、議長席を交代させていただきます。</p>
天野会長	<p>それでは、今年度も引き続き、会長を務めることになりました。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、規定により議長を務めさせていただきます。さて、市民の健康増進を図るための計画として「第4次健康きさらづ21」が令和6年3月に策定されました。本日、お集まりの皆様は、健康づくり推進者の代表としてご出席いただいておりますので、市の健康課題や健康づくり事業を客観的に検討し、よりよい事業が展開できるよう、忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。ご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日はじめて協議会に出席された方もいらっしゃいますので、議題2の「健康づくり推進協議会について」説明を事務局よりお願いします。</p>
事務局 (清水)	<p>《議題2 健康づくり推進協議会について》</p> <p>議題2「健康づくり推進協議会について」ご説明させていただきます。</p> <p>お手元の「木更津市健康づくり推進協議会要綱」をご覧ください。木更津市健康づくり推進協議会は、要綱 第1条にあるとおり、市民一人ひとりが自分の健康は自分でつくることを基本に、生涯を通じて健康づくりを総合的かつ効率的に実施するため、昭和54年に設置された協議会でございます。委員構成は、第3条にあるとおり、関係行政機関、保健医療関係団体、健康づくり関係団体、住民の各代表者、計18名で構成されております。任期につきましては第4条 第1項の規定により2年としておりますので、令和8年6月30日までとなります。</p> <p>協議会の所掌事務として、第2条にあるとおり、本市の健康増進計画「健康きさらづ21」の策定及び進捗管理そしてその評価を行うこととなっております。</p> <p>第4次健康きさらづ21冊子の98ページ、「計画の推進体制」をご覧ください。計画は、関係機関等が協力をして進めていくことが必要であることから、木更津市健康づくり推進協議会を中心とした推進をはかっていきます。</p> <p>(2)の、「健康きさらづ21推進連絡会議」をご覧ください。こちらは、庁内関係各課及び小中学校の職員 25 名で組織します。各課の垣根を越えて市民の健康の保持増進に向けて協力または連携し、調査や検討を行います。</p> <p>そして、本協議会では、健康きさらづ 21 推進連絡会議での活動や第4次健康きさらづ21の進捗状況を把握し、総合的に評価を行っていただくこととしております。</p> <p>このように、「健康づくり推進協議会」、「健康きさらづ21推進連絡会議」がそれぞれの役割を担い、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を図っていくものでございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p>
天野会長	<p>ただいまの説明にご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>— 質問等なし —</p>

天野会長	はい、特にご質問はないようですので、続きまして、議題3の「第3次健康きさらづ21のライフステージ別健康目標の達成状況について」事務局から説明をお願いいたします。
事務局 (渡邊)	<p>《議題3 第3次健康きさらづ21のライフステージ別健康目標の達成状況について》</p> <p>議題3 第3次健康きさらづ21のライフステージ別健康目標の達成状況についてご説明させていただきます。A4 カラー刷りの「第3次健康きさらづ21のライフステージ別健康目標及び令和5年度結果一覧表」をご覧ください。</p> <p>ライフステージ別とは、人の一生を、妊娠・胎児期、乳幼児期、学童期・思春期、成人期・老年期の5つの期間毎に健康目標を持って取り組みを実施してきたものです。この表は、前計画で行ってきた取り組み結果について、計画期間の平成28年度から令和5年度までの8年間分を表しています。さらに、計画策定時と最終年度の数値を比較して、達成状況をAからDで分類して評価したものです。Aは目標値に達成した項目、Bは改善しているが、目標値に達していない項目、Cは変わっていない項目、Dは悪くなっている項目です。また、調査修了により、評価不能な項目がありました。</p> <p>まず、計画全体の達成状況からご説明いたします。表の右上をご覧ください。Aは38.9%、Bは17.9%、Cは2.5%、Dは30.2%で、AとBを合わせると、半数以上が改善しているという結果となりました。一方で、D、悪くなっている項目については、次の第4次計画の課題として、引き続き取り組んでいく事となりました。</p> <p>では、その引き続き取り組んでいく課題について、抜粋してご説明いたします。</p> <p>2ページ目をご覧ください。学童期・思春期の、31番、赤枠で囲った項目になります。小学生、中学生の肥満ですが、全ての学年において、肥満の増加がみられます。一方で、32番やせについても改善しておらず、小中学生において肥満とやせ両方の課題があることが伺えます。</p> <p>さらに、33番小中学生の朝食を欠食する者の割合についても改善していません。朝食を食べずにいると、午前中の血糖値はとて低くなり、昼食を食べた後の血糖値が急激に上がることから、肥満や糖尿病などの生活習慣病の原因にも繋がっていきます。将来に向けての体作りが重要なこの時期には、より改善が必要な項目となります。</p> <p>3ページ目、41番小中学生の「運動やスポーツを習慣的にしている者の割合」は、小中学生共に大きく減少しています。コロナウイルスの影響、また昨今の熱中症予防のための外での運動を控える傾向についても影響しているかと思いますが、この状況は肥満の増大に大きく関係すると考えます。</p> <p>次に46番の「がん検診受診率向上」ですが、5種類のがんのうち、3つは計画策定時よりは数値が改善しているBとなっていますが、本市はがん検診受診率が非常に低い現状があります。大腸がん検診は県内最下位、肺がんと乳がんはワースト2位、胃がんはワースト3位です。皆さんもご存じのとおり、日本人の死因の1位はがんであり、本市も同様に、27%を占めています。がんは、早期発見・治療を行えば9割が治る時代になっていますので、対策が必要です。</p> <p>次に、51番肥満については、30歳代の若年期健診、40歳以降の特定健診の男女共に増加しています。先程お伝えした、小中学生の小児の肥満対策と併せて、大人の肥満対策も必要です。</p> <p>4ページ目、69番 朝食を欠食する者の割合ですが、30歳代の若年期健康診査の対象者が</p>

	<p>男女共に改善していません。先程(33番で)お伝えした、小中学生の朝食欠食の状況と、その保護者世代にあたる30歳代の状況には関連があるのではないかと推測します。</p> <p>また、72番「進行した歯周炎を有する者の割合」は、大幅に増加しているという現状があります。</p> <p>以上抜粋ですが、取り組みについての評価・課題の報告を終わります。</p>
天野会長	<p>ただいまの説明にご質問・ご意見をお願いします。</p>
金網委員	<p>これは乳幼児期から学童期、思春期、全ての調査範囲で肥満が急激に増えていますが、乳幼児期だと母親の管理とかが行き届いており、学童期思春期になると管理が行き届かなくなるから、肥満が増加していくという事でしょうか。はっきりした原因がわかりますか。</p>
事務局 (子安)	<p>ご質問ありがとうございます。はっきりした原因というのは明確になっておりませんが、おっしゃる通り、乳幼児期というのは、保護者の管理の元、食事を摂っているというところが大きいかと思います。小中学生になりますと、自分で選んで食べるという事ができる年代になりますので、その影響がすごく大きいととらえております。</p>
天野会長	<p>議題4「第4次健康きさらづ21計画概要について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (都築)	<p>《議題4 第4次健康きさらづ21計画概要について》</p> <p>議題4 第4次健康きさらづ21計画概要説についてご説明いたします。</p> <p>こちらの概要版をご覧ください。まず、計画策定の趣旨ですが、生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、市民一人ひとりが健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組んでいけるよう、食生活や運動などの生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防、重症化予防の推進、健康になれる社会環境の質の向上をはかるため、策定いたしました。計画期間は、令和6年度から令和17年度までの12年間です。</p> <p>2ページをご覧ください。木更津市の現状・課題・取組の方向性として、市民アンケートや第3次計画の評価、市のデータを基にして、取り組むべき5つの重点課題をまとめています。</p> <p>まず1つ目は、「肥満対策の推進」です。本市の、肥満の割合は、小・中学生、成人期において増加傾向であり、県平均より高い結果となっています。年代ごとの肥満者の割合としては、男性は中学生から30歳代の間に急激に肥満者が増加していること、50歳代の半数近くが肥満に該当しています。女性については、30歳代からゆるやかに肥満者の増加が見られます。</p> <p>2つ目は、「がん検診受診率向上による早期発見・早期治療」です。がんは早期発見・早期治療のため、定期的に検診を受診することが重要ですが、本市の受診率は限りなく県内ワーストに近く、低い状況です。市民が、がん検診の重要性を理解し、受診行動に結びつくよう、がんに関する知識の普及や、受診しやすい環境整備を検討し、受診率を向上させることが急務です。</p> <p>3つ目は、「次世代に向けた規則正しい生活リズム獲得の推進」です。特に乳幼児期における早寝早起きという規則正しい生活習慣の確立は、脳を発達させる土台づくりになり、さらに、子どもの一生の健康に影響を与えていると言われています。本市におきましても、乳幼児健診</p>

などで「早寝早起き朝ごはん」の推奨を継続して取り組んできましたが、3歳児健診においては、「21時までに寝ている者の割合」は減少し、取組の成果が表れていませんでした。また、肥満や生活習慣病の原因に、朝食を摂らない習慣がありますが、小中学生、30代においては、朝食を摂らない者の割合が増加しています。この現状を踏まえ、望ましい生活習慣づくりの支援を強化していくことが重要となります。

4つ目は、「心疾患、慢性腎臓病、脳血管疾患予防対策」です。心疾患は本市における死因の第2位で、県と比較して高い割合です。働きざかり世代の突然死の原因としても多くを占め、本市の40歳～64歳の死因の約2割以上が心疾患となっています。また、本市の腎不全による死亡も県と比較して高い現状があります。慢性腎臓病は進行すると腎不全になり、人工透析が必要になることがあります。そして、脳血管疾患は県にくらべて死因として多いわけではないのですが、本市の場合、要介護状態になった方のレセプトを分析すると、脳血管疾患は約40%を占めていました。このことから、心疾患、慢性腎臓病、脳血管疾患の原因となる、メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの発症予防、重症化予防に継続して、取り組んでまいります。

5つ目は、「成人期における歯科疾患予防の推進」です。国のデータによりますと、歯を失う原因の第1位は歯周病、第2位はむし歯です。幼児期・学童期においては、むし歯は年々減少傾向で、歯科疾患予防が浸透してきていると言えますが、成人期では、歯周病、むし歯、共に減少傾向が見られません。このことから、乳幼児期からの取組みはもちろんのこと、成人期のなかでも、より早い時期に歯周病やむし歯の発症、重症化予防に取り組んでいきます。

4ページをご覧ください。計画の基本的な考え方です。基本理念は「高めよう健康意識、実践しよう健康づくり、つかもう健康長寿」です。計画全体のイメージ図ですが、健康寿命の延伸、健康格差の縮小を目標として掲げ、まず、一番下の土台となります。社会環境の質の向上を拡げていきます。その上で、栄養や食生活といった、生活習慣病のリスクファクターとなる、生活習慣の改善の普及啓発に努めます。その上で、がんや心疾患、慢性腎臓病、脳血管疾患といった生活習慣病の発症予防と重症化予防、そしてロコモティブシンドローム、骨粗しょう症といった生活機能の維持、向上に努めていきます。

5ページは、計画の体系図となります。4ページと色を対比させて作ってありますので、どうぞ見比べてご覧ください。上の赤い文字で書かれた、「基本目標」「取組の分野」に関しましては、国の計画を踏まえた形となります。「取組の分野」の、上から2番目「(2)健康な体づくり」は、本市において「次世代に向けた規則正しい生活リズムの獲得」が重要であることから、独自に盛り込みました。そして一番右側に重点課題との関連番号を入れました。

ここで、4 社会環境の質の向上について、説明を加えさせていただきます。

最近の研究では、「人と人のつながりが強い地域に住んでいる人ほど健康度が高い」というデータが示されており、健康づくりのためには、コミュニティづくりも合わせて推進していくことが重要とされています。「歩きたくなるまちづくり」を推進してきた街では、個人の歩く機会が増えた効果もさることながら、顔見知り同士が偶然出会う機会が増え、つながり力の強化にも繋がったそうです。また、日本人の健康無関心層は、約7割を占めていると言われております。無関心層は健康情報にほとんどアクセスしないので、行動を変える機会も失われているとされています。そのような方達にも届く健康づくりの取組みが必要となります。これらを踏まえ、本市においても住民同士のつながりの強化をはかるとともに、健康的に活動できるまち

	<p>づくりの推進、健康に関心の薄い層も含めた取組みを行っていきます。</p> <p>6ページ目、7ページ目には、市の取組みについて記載しました。知識の普及啓発や、様々な事業を実施する事で、市全体の健康度を上げていきます。詳細については、この後にご説明する、「令和6年度の推進連絡会議の取組み内容」でお伝えしたいと思います。</p> <p>8ページ目には、市民一人ひとりの取組みについて掲載しました。市民一人ひとりの意識を「より健康である状態」へ上げていく事、こういった行動をとれる市民を一人でも増やす事が、取組みの結果に繋がっていきます。</p> <p>この概要版には掲載しておりませんが、計画の90ページ以降にあります、健康目標について、毎年評価する事で、取組みの評価を行っていきます。</p> <p>説明は以上となります。</p>
天野会長	<p>ただいまの説明にご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>— 質問等なし —</p>
天野会長	<p>それでは、議題5「健康きさらづ 21 推進連絡会議における令和 6 年度の取組み内容について」、事務局からお願いします。</p>
事務局 (子安)	<p>《議題5 健康きさらづ 21 推進連絡会議における令和 6 年度の取組み内容について》</p> <p>議題5 健康きさらづ21推進連絡会議における令和6年度の取組み内容について、ご説明いたします。 A3 版の「第4次健康きさらづ21取組一覧シート」をご覧ください。</p> <p>こちらのシートは、計画の 52 ページ以降に記載されております「具体的な取組」について、担当課、関係課がどのような事業や取組みを行い、計画を推進していくのかを示したものです。</p> <p>ここに記載のあります事業に取り組むとともに、取組一覧シートの1ページ目の取組の欄にあります「適正体重維持のための知識の普及啓発を図る」ため、一番上段の、康推進課は「①各年代に応じた適正体重維持に関する普及啓発資料を作成し、健康診査、健康相談、健康教育等にて活用すると共に、SNS等により情報発信する」という取組に、「資料は「健康きさらづ21推進連絡会議を通じて作成する」とございます。</p> <p>「適正体重」に関する資料の他にも、「身体活動、睡眠、飲酒、骨粗鬆症予防、歯科」を含めて、計6種類ございます。資料によっては、子ども向け、成人向け、高齢者向けなど、年代毎に内容を変えるものもあり、作成する資料は、計13枚となります。</p> <p>これらは、学校や、公民館事業、高齢者事業、健康教育、相談、SNS での発信などの様々な場面で活用していきたいと考えております。</p> <p>資料の作成は、今年度中に推進連絡会議で行っていきます。</p> <p>進め方としましては、まず、健康推進課の保健師、栄養士、歯科衛生士の若手メンバーが素案を作成し、各課の推進委員へメールで投げます。推進委員は自身の課の職員へ素案の趣旨を伝え、見てもらうよう促し、資料の感想などを取りまとめて、返して頂きます。</p> <p>資料については今年度作成を終了し、来年度以降より、使用していきたいと考えております。</p> <p>説明は以上となります。</p>

天野会長	<p>ただいまの説明にご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>— 質問等なし —</p> <p>最後の議題6「意見交換」に移ります。これまでの説明を踏まえての感想ですとか、日頃、感じている健康の問題など、ご意見をお願いします。</p> <p>健康きさらづ 21、これはすごく範囲が広いので、それぞれの分野で、または気になったところで良いので一言ずつ思います。</p>
山本委員	<p>《議題6 意見交換》</p> <p>がん検診の事を課題として出して頂いていて、県下で低い状況だったので、引き続き対応して取り組んで頂くという事でしたが、うまく成功した事例とか、検診受診率が上がったところを探して、新しい取組みとかが発見できるといいなと思います。</p> <p>また、啓発資料を作るという事でしたが、お年寄りとか自分もそうなんですが、目がだんだん細かい文字が見えなくなってきたので、高齢者向けの資料には大きな文字で記載してくれると嬉しいなと感じているところです。</p>
事務局 (荒木)	<p>ご意見をありがとうございます。がん検診のことをお伝えさせていただきます。計画策定にあたり、市民アンケート等で意見を賜りまして、同時に複数のがん検診を受けられると良いという意見を頂きました。今年度から肺がん検診と大腸がん検診を同時に受けられるようにしましたところ、まだ途中経過ではありますが、受診率の方が特に大腸がん検診の方が昨年より良くなってきているような状況でございます。また先駆市などの事例を踏まえまして、今後の対策を考えていきたいと思っております。</p>
及川委員	<p>市の方や関係部署の方へのお願いでございます。第4次健康きさらづ 21 の取組み一覧シートを拝見させて頂くと、多くの部署が関わっているようですが、市民に対する啓蒙活動などが含まれていると思います。今までの経験の中ですと、指導の担当課が召集をかけて説明会を開いて、同じような報告を別々のところが開く事があるんですけど、この健康きさらづ21の取組みに関しては、担当部署とよく打合せをして、ダブるような説明会を開催とか、啓蒙活動を避けるような形をお願いしたいなと思います。</p>
事務局 (都築)	<p>ご意見ありがとうございます。今回、啓発資料を作るにあたりまして、関係する部署同士で話し合いの場を持ちますので、どの部署がどの事業で、どんな場所で資料を使って啓発させて頂くかというような話が出てくるのではないかと期待しております。</p>
小林委員	<p>取組み結果の表を興味深く見ました。朝食を欠食する児童とその親世代の成人期の達成状況の割合について、養育の環境というところで、親の生活習慣というのが移行していくのではないかと思います。母子保健と成人期の健康づくりでは、何か連携するような仕組みとかがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>私たち健康推進課は、母子保健係、成人保健係というのがあるのですが、地区担当の保健師</p>

(荒木)	<p>は成人や母子という垣根を越えて、一つの家を見つめてアプローチしています。ライフコースアプローチの「人の一生は過去からの影響を受けてずっと繋がっている」という視点を持って保健事業を行っていきたいと思っております。また、健康推進課だけではなく、子育て支援課、学校教育課、こども保育課などとも連携をはかり、取組みを行っていきたいと思っております。</p>
天野会長	<p>私の方の立場から言うと、検診の受診率の向上ですね。大体例年同じような数字で。がん検診の実施率がとても少ないという実態があります。広報などのアクセスをよくするようにして、そこが増えていけば伸びていくのではないかと考えます。</p> <p>検診の受診率が低いというのが数字として出ていますが、日々診療の場でレントゲンを撮っているのに、それが肺がん検診と重なってしまうというのがあります。しかし、数字を上げなければならぬというので、引き続き受診率向上には取り組んで行って欲しいと思います。</p>
柳井委員	<p>直接私の業務とは関係ないんですが、学校薬剤師をやっております、そこから子どもの睡眠時間が減っているという話を聞いています。第3次健康きざらぶ21ライフステージ別健康目標の達成状況にある、肥満の増加や朝食の欠食する方が多くなったり、睡眠を中心に考えて、睡眠の大切さを啓発していくのが大切だと思ったのですが、睡眠時間の目標というのがあるのでしょうか。</p>
事務局 (都築)	<p>計画の41ページの下のところ、きざらぶの絵があります。そこに早寝早起き朝ごはんというのがありまして、「夜は9時には寝ようね朝は7時には起きようね」とプラカードを持っております。乳幼児健診の中では特に「夜は9時には寝る、朝は7時までには起きる」という声かけは行っております。</p>
中尾委員	<p>現在、岩根中学校で校長をしています。今回この第3次の結果について、学童期思春期の肥満が増えているというのを見まして、原因は食生活なのか、運動なのかと考えていました。成人期も肥満が増えているというのがありましたが、成人期は運動の割合は増えており、30番の「1回に30分以上の汗をかく運動の割合」は増えており、評価はAです。こちらの結果を考えると、肥満の原因は運動不足よりも食生活にあるのではないかと考えておりました。食生活の改善は子どもだけの改善は難しいことから、保護者を巻き込んだ指導が必要という事を認識しました。</p> <p>それともう1つ数値を見てショックを受けたのが、41番の「運動やスポーツを習慣にしている者の割合」が小中学生ともに激減していることですが、よくよく見るとこの根拠が県が定める運動能力調査の合格率を使っているという事でしたので、ちょっとホッとしたところがあります。これはある一定以上の運動能力を有している割合によるものであり、いわゆる運動ができる、運動能力が高いと言われる子ども達の割合となります。部活動は半分以上の生徒が参加して、習慣的に運動をしている子どもはおります。第4次計画は、「体を動かす楽しさを学ぼう」「各種スポーツイベントに積極的に参加しよう」というのがありますので、ぜひ運動能力の面ではなくて、運動に関する興味関心が高められるような視点で調査をして頂いて結果どうだったかというのを示して頂けると、興味深い結果が出るのではないかと思います。そのあ</p>

	<p>たりは宜しくお願ひしたいと思います。もちろん小中学校の方にもできる事については取り組んで参ります。</p>
天野会長	<p>やはり、家庭を巻き込んでというのは大切だと思います。診察の場となると、子どもさんの場合は大体親が付き添ってきます。肥満傾向のあるお子さんには、肥満傾向のある親御さんだったりします。家庭内の食生活や、運動習慣は影響があると思います。コロナの期間、皆さん静かにしていますから、運動をする習慣がなくなっています。少しずつ改善してきていますが、まだ完全には戻ってきていません。オリンピック、スポーツイベントが行われていますので、またスポーツに目覚めて頂ける方が増えてくれるといいなと思います。</p>
木村委員	<p>学校給食部会というのは、栄養士、栄養教諭が所属している教育研究部会で、食育やその指導のありかたについて話し合っている部会であり、栄養の大切さ、食育についての教育を行っています。自校式の学校には栄養士や栄養教諭がいるんですが、センター方式の学校には栄養士がおりません。そうすると、食に関する専門家がない学校がおりますので、食育について教えるのは担任という事になります。これから市の第2の給食センターを作るので、そうすると栄養士、栄養教諭も少なくなっていくので、残る先生達が頑張っていくのかなと思っています。</p> <p>先ほど中尾先生もおっしゃっていましたが、「早寝早起き朝ごはん」については、どの学校でも啓蒙活動は行っていますが、時々遅刻などで家に電話をしてみると、お家の人も寝ていたりというご家庭もありますので、それは家庭の教育に対する姿勢もあると思います。それが全部というわけではなく、一部の方だけになるので、そういうご家庭を少しでも減らすように学校の方でもやっていきたいと思っています。</p> <p>最後に38番と39番のアルコールとか喫煙についての児童・保護者への啓発活動を行っている学校の増加について、Dになっていますが、厳しいなと思っています。授業としては、学習指導要領で載っているのですが、子どもについては行われておりますが、保護者まで啓発しているかということ、そこまでは行っていないのではないかなと思います。それをどこまで学校がやっていくか。子どもへの指導は100%。あとは保護者への啓発が課題だと思います。</p>
天野会長	<p>学校給食は財政が厳しく、その中でバランスの良い栄養のある食事を作り、子どもが残さないようにする試行をして、苦労されています。引き続き頑張って頂けたらと思います。</p>
木村委員	<p>最近、色々な物が値上げしました。市からは予算を上げて頂いて、学校給食も頑張って作って頂いています。それでもかなり厳しい状況なのですが、栄養士の方も頑張っています。市もお金を増額してくださっているので、感謝しています。</p>
北原委員	<p>薄味習慣を定着させよう、野菜を食べてもらおうなど指導しています。木更津市は高血圧の方が多いため、生活習慣や、野菜摂取の事を必ず言っております。実際に調理実習もやっているのですが、そこに参加されている方は本当に限られた方で、そういう方は意識が高く、参加されない方への啓発なんかはとても難しいと思っています。で、十分に啓発していると言っても、それを理解する力が相手になれば、伝わらないという事も感じています。間違っ</p>

	<p>釈をしていると感じる事もあります。</p> <p>がん検診については、検診を受けない方がよいという情報を自分のいい風に受け取り、受けないという方もいらっしゃいます。そういう理解力の格差をどのように改善したら良いかというのを感じています。減塩などに関しては、個人の行動というのは限りがあって、実際に食べ物に対する減塩を企業や提供する側へのアプローチっていうのをしていくのも重要じゃないかなと思います。子ども達が手に取るものも、良い物、薄味とかのものが手に取れる環境になれば良いなと思います。</p>
大久保委員	<p>スポーツ推進委員のイベントは年にいくつかあり、その中の1つにスポレク大会があります。私たちのポリシーとしては、「いつでもどこでも誰とでも」です。これまで種目は、ソフトバレー、インディアカ、グランドゴルフで、あまりスポーツに馴染のない方には敷居の高い種目だったんですが、今年度からグランドゴルフは残したまま、ポッチャとモルックが取り入れられました。ポッチャだとパラリンピックでも起用されているように障害がある子どもも参加できるスポーツなので、スポーツに馴染のなかった方でも参加できるようになるのではと期待しています。広報に2か月くらい前に案内しています。見て頂いて、ぜひ参加してもらいたいなと思います。</p> <p>取組み一覧シートの10ページに「食と講話の実践」が記載されています。今まで広報で見たいと思っていましたが、仕事の関係で参加できませんでした。今年の1月、時間ができたので、初めて参加しました。本当に良い事やってくださっていたのですが、私が参加した時には参加者はたった6人でもったいないなと思いました。しかも初参加が私だけで、あとの5人の方は何年も参加しているという状態だったので、皆が良い物に参加できたら、より健康的になるのではないかと思います。</p>
鈴木委員	<p>スポーツを習慣的にやっている割合が非常に少ないことが示されておりました。スポーツ振興課の方ともお話したんですけども、スポーツ協会の加盟団体には子ども達のスポーツ教室はたくさんありますが、各家庭の親御さんがどこでどういうスポーツ教室をやっているか知らないのではないかと、どこかで知らせる必要があるのではないかとという相談をした事がありました。</p> <p>私は市民体育館で柔道教室をやっているんですが、以前は柔道を志す子ども達がたくさんいましたが、今は10人くらいの子も達しかいないです。パンフレットを作って募集をしており、小学校に貼ってあったのを見て来られたという方がいました。そういった知る機会があれば、スポーツをする方が増えるのではないかと思います。</p> <p>スポーツ振興課も子ども達に体験イベントをやっていますけど、それに加えてどこでやっているかを知る機会があれば良いと思います。</p>
水島委員	<p>PTAを代表として、母親の立場として一言お伝えさせて頂きたいと思います。肥満とやせのところなんですけど、これは食生活と体を動かす機会が減っている事なのではないかと感じています。学校にいる間は、計算されつくした給食を食べさせて頂いているので、保護者も安心して頂いています。今、夏休みに入りまして、子どもの食生活が乱れる時期だと感じています。共働きの世帯も増えて、私も朝から夜まで働き、子どもを家で年老いた親に見てもらったりしていま</p>

	<p>す。子どもがレンジでチンしてできるような簡単な物を買ってきてしまうなど、いろんな面で肥満傾向になってしまうのではないかと思います、改めてちゃんと考えなきゃと思いました。また、働いている事により、子どもに食事を与えない方がいるというのも耳にしております。肥満とか痩せには親の問題もあるのかなと思っております。</p> <p>それと、視力の低下のあるお子さんが増えているというのを聞いています。タブレット導入やスマホの普及によって、早い時期から眼鏡をかけてくださいと言われる子ども達が増え、私の末の子も6年生になるんですが、2年生、3年生から眼鏡をかけなさいと言われて、びっくりしました。そこは時代の流れとして、仕方ないのかなと思いますけれども、子ども達の目の悪さには本当にびっくりしています。</p> <p>がん検診は、受ける機会がたくさん設けてくださっていると思うんですが、検診に行きたいと思っても、共働きや仕事をしている方達は検診を受けるために休暇を取って行かなくてはならないので、行きたくても行けないのではないかと気になっているところではあります。</p>
天野委員	<p>子どもの痩せについては、特に一部、美容的な意味での痩せ志向っていうのもありますので、健康的な体っていうのを啓発していくっていうのも必要かと思います。</p>
橋詰委員	<p>ちょうど5年くらい前には、シニアクラブ連合会は老人クラブ連合会でした、僕が会長になってからは老人クラブというのはみっともないからシニアにしましょうと言いましたら、皆が賛成した。今考えると、老人クラブの方が大事にされていた感じはある。シニアクラブとなると若く見られるのですが、実際には皆、70、80歳のお年寄りなんです。</p> <p>ここにスポーツ推進委員会の久保さんがいらっしゃる。富津、君津、袖ヶ浦市は色々なスポーツをやっている。グランドゴルフ大会、あるいはボッチャなど。木更津はスポーツ推進委員会があるんだから、もっともっとシニアクラブなどにお声をかけて連携を持って、グランドゴルフなどを取り入れたり、いろんな事をやって欲しいなと思っています。</p>
石野委員	<p>私は羽鳥野の自治会長をやっていて、波岡区長会を経て、今市の区長会連合会に来ています。その立場から取組み一覧シートを拝見させて頂いて、公民館が関係する事業、公民館だけでなく、まちづくり協議会がありますので、こちらも声をかけて、自治会とか町内会を巻き込んでやって頂けたらいかかなと提案させて頂きます。公民館主催事業でやっていくと大変なのではないかなと思います。</p>
笹生委員	<p>各地区で組合員だとか、一般の人を対象とした健康診断も本店の会場などで行っています。年を追う毎に受診者が、非常に減ってきていることが数字で表れてきています。健康寿命の延伸というのも騒がれている中ではありますが、勤めている人や子どもは多分定期的に健康診断を受けているんでしょうけれども、そういうところに属していない人達、仕事していない人達の受診率を上げていければと思っています。集団健診や巡回人間ドックなどが終わって、数字が取り終わった段階で、今日、この会議があり、改めて健康診断に関しては共感する部分があったという事と、健康に対する啓蒙というのを広めていきたいと思っています。</p>
鶴岡委員	<p>商工会議所の方でも健康診断をやっています、8月に毎回100人以上受診し、受診者は横</p>

	<p>ばいもしくは増えているというような状況です。オプションとして胃がんの検診、大腸がん検診を受けられるようにしているのですが、がん検診の受診者は確かにそんなに多くないという印象はあります。胃がんの検診についてはバリウムを飲むので、午前中にしかできないのですが、もう少し増やしていきたいと思います。</p> <p>職場の中で健康づくりという事で、協会けんぽで、健康づくり宣言という事業をやっています。協会けんぽに自分の事業所は健康づくりをやっていますという宣言をして活動して頂くのですが、その宣言をした中で、健康経営を行う優良法人という認定を受けます。優良法人という認定を受けますと、例えばハローワークで求人をする時に健康経営に取り組んでいるというわけで、採用しやすくなっていくというメリットがあります。事業所が従業員に対して、いろいろな健康に気を使った対策をしてもらえるように健康経営に対する取り組みの推進を積極的にやっていきたいと思っております。</p>
岡田委員	<p>私は一小中央地区の担当をしております。今回、いろいろな資料を頂いて見る中で、小中学生の肥満が全学年増えているという現状を知ってびっくりしています。朝食を摂らない家庭が増えている事も、どうしてこんなに肥満が増えるんだらうという事もあるのですが、栄養に偏りがあったりとか、親がいなくて自分で簡単な物で済ませたり、主食の炭水化物ばかりで摂っているなど、そのような経過がこういう結果になっていると思いました。夏休みになって給食がないという事で、お昼を簡単な物で済ませたり、中にはお昼を食べないで、2食だったり、下手をすると朝も食べずに1食だったりといった子どもがこの時期に増えている。そういった偏りが、こういった結果に繋がっていているのではないのでしょうか。暑さに耐えられなくて、熱中症に繋がったり、そういう栄養不足のところから健康被害に繋がってくるのではないかと思います。</p> <p>がん検診ですが、私の周りにもがん検診を受けていない人がちらほらといます。がん検診をどうしたら皆さんが受けられるっていうかを考えて取り組んでいかなければと思いました。</p>
及川委員	<p>私たち民生委員は生活弱者と言われる人たちを対象にしています。生活に困窮している人達に対して、他の団体と協力して支援しているわけですが、お年寄りの方に対しての支援が多いです。健康診断を受けないという方もいます。話を聞くと、健康に不安がなくて受けていないわけではなくて、受けているからいいよと言う。それはどういう事かと言うと、かかりつけのお医者さんがいて、ほぼ毎月お医者さんに行き、半年に1回、血液検査をやって、検査項目もほぼ同じようなものだから、役所の方から手紙が来たけど受けないよという方がけっこういらっしゃる。検査の項目が一緒だったら、健診を検査の代わりにしちゃったらいんじゃないかなと思っています。健康診断については一人でも多くの方に受けて頂く体制を皆で作って頂ければいいなと思っています。</p>
天野会長	<p>病院で健診はやっておりますけれども、がん検診など全てをカバーしているわけではないです。例えば大腸がん検診などをやっているかっていうとそうではないですので、受けてもらおう。それと熱中症ですよね。大体なるのは高齢者が多く、大抵エアコンがついていなかったとかいうこともあります。今、避難所っていうのもあり、イオンモールなどに集まっていますけれども、そういった熱中症予防の対策も市の方でやってもらえたらと思います。大体認知症が</p>

	<p>あつて暑さに対してよくわからなかったりとか、中にはガス代とか電気代とか気にしてというの もあります。昔の感覚とは違いますから。</p>
金網委員	<p>木更津市社会福祉協議会の金網と申します。 私の方からは第4次健康きさらづ 21 の評価についてコメントいたします。本編の方はオリ ンピックで言えば、決勝進出クラス、概要版につきましては、非常にわかりやすいし、内容がしっ かりとしている。これは、金メダルという事でございます。</p>
天野委員	<p>皆様、貴重なご意見ありがとうございました。その他に事務局何かありますか。</p>
事務局 (荒木)	<p>特にございません。</p>
天野会長	<p>それでは、本日の議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。 これで議長の任をとかせていただき、事務局にお返しいたします。</p>
事務局 (荒木)	<p>私からは、今年度の協議会の開催について連絡させていただきます。昨年度は計画策定の 年であったことから、複数回協議会を開催させていただきましたが、今年度には現段階では、 例年同様年1回の開催に戻す予定でおります。今年度の取組みを行って行く中で、協議会内 で検討が必要な事項が生じた場合は開催させていただく場合もございしますが、基本的には 年1回程度の開催とご認識いただければと思います。 以上をもちまして、「令和6年度木更津市健康づくり推進協議会」を閉会させていただきます。 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。</p> <p>《 閉 会 》</p>